

めぐみ厚生センター センターだより

第 353 号
発行 2016年 5月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

富樫史朗前理事長が島原へ転勤ということで、その後を受け四月一日より理事長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、今のこの世の中は予期せぬ大きな地震や大雨、噴火といった自然の災害が度々起こり、自然の力に対して私たち人間の無力さを感じます。また一方で人間の手によって人間の尊い命が奪われるという悲惨な事件が多々あることも事実です。本当に何が起こるか分からない世の中です。

この福祉の世界も同様で、様々な制度改革が頻繁に行われ状況が変わります。そのため、昨年良かったことが、今年はだめになっていたり、逆に昨年まではだめだったことが、今年は良くなったりします。そのようにめまぐるしく変わ



「今の時代」

社会福祉法人めぐみ厚生センター

理事長 栗林 恵一



る状況の中でその状況に応じて対応していかねばなりません。この世の中はいつも同じではありません。しかしこのめぐみ厚生センターはキリスト教の愛の精神で『隣人を愛する』ことを基本理念にして建てられ運営されています。世の中が色々変わってもこのキリスト教の愛の精神は変わりません。この愛の精神とは、隣人を愛すること、受け入れること、そしてそのことによって共に生きる喜びを見つけるということです。

このことをしっかりと心に留めて、利用者の方々のことを第一義に考えていかねばなりません。しかし実際にはこれは大変難しいことでもあります。自分を愛する、自分を受け入れることは簡単なの

ですが、他の人を愛する、受け入れるということは大変難しいと思います。生きるうえで隣人を受け入れようとしてもうまく出来ず、^躓きがあり悩み、苦しむ時もあるかも知れません。しかし、その様な時も私たちは何のために働いているのか、どこに喜びがあるのかを考えた時、答えはおのずと出てくると思います。

まずは喜んで仕える(喜びをもって働く)ことです。そのためには笑顔が必要です。自分(の心)が笑顔になれば周囲も笑顔になれます。喜びが生まれます。

どうか皆さん、激動の世の中ではありますが、そういう時にこそ、キリスト教の愛の精神だけは変えずに、またそのことをしっかりと心に留め、これから利用者の方々の幸せを考え、またそれが自分の幸せにもつながるということを頭において、お互いみんなで協力して、そして何よりも微笑むことを忘れずに、より良い福祉サービスの向上に努めていきましょう。

めぐみ園

☆☆平成二十八年度☆☆
めぐみ園のご紹介

新年度を迎え気持ち新たに、めぐみ園、また在宅からの利用者の皆様方の健康を願い、楽しい一年でありますように共に過ごしていきます。



こんどはどこに行こうかな？



活動も楽しみましょう！

笑顔があふれるめぐみ園、元気なめぐみ園をめざし、今年度も頑張ります。
(職員一同)

佐賀城下ひなまつり見物



三月十日
と二十二日
に手工芸班・
クリーニン
グ班のメンバーで出
かけました。佐賀歴
史民族館や徴古館に
は年々いろいろな雛人形が飾られてい
て皆さん感激されています。
(お内裏様)



お花見・野点

園の桜も満開！
茶道も

桜の木の下で
四月十二日
(酔候)



焼肉会



(キン肉マン)

3月29日の昼食は焼肉
元気モリモリ、
皆さんスタミナつけて～

イースター

四月六日にイエス様の復活をお祝い
しました。皆でイースターエッグを作り、
その後はエッグ運びをしたり、レクリ
エーションを楽しみ
ました。
(卵)



グランドゴルフ

久保田町運動公園にて、四月十六日
に福祉協会主催の県施設利用者グラン
ドゴルフ大会が開催
されました。他
施設との交流をよ
り深め、楽しく競
技されていました。
(あぶさん)



岸川さんホールインワン達成!!

どりいむ 地域活動センター

一日外出 (花見)

三月三十日水曜日、金立公園に花見
に出かけました。バスに乗車中は雨が
降り出し不安でしたが、公園に着くと
雨は止んでいて、ランチタイム時は桜
を眺ながら東屋やベンチでお弁当を食
べることができました。皆さんの行い
がきつと良いからですね！



桜と菜
の花の美
しさに散
策しなが
ら笑顔が
溢れる一日でした。
(はまっこ)

はっぴい 放課後等デイサービス

花見

昨年からはじまったはっぴいでの花見♪
今年も予定通り、牛津の陽だまりの丘
公園に行くことができました。ひらひ
ら舞う桜の花びらが
とても綺麗でしたが
それよりもお弁当と
遊ぶことに夢中の子
どもたちでした♪
(コガ)



富士学園

春のパン祭り
ポルシチも唐揚げもソフト
クリームも...



近年恒例となりました『春のパン祭り』が四月二十日(水)開催されました。食事サービス係が「〇〇パンいかがですか」と色んな種類のパンが沢山入ったバスケットを抱えて、食堂内を巡回するのですが、「はーい、ください、ください」とあちこちから声が飛び交って大盛況となりました。パンはもちろん食べ放題ですが、その他にもポルシチ、唐揚げ、サラダ、コーヒー、ソフトクリームをいただきました。パン以外にも心が満たされた大満足な昼食となりました。(イチロー)

ウイズ富士

日帰り旅行

三月十四日(月)に利用者三名・ご家族一名・職員二名で山口県下関市に日帰り旅行。天気にも恵まれて素晴らしい観光日和でした。



高速道路のインターで休憩をとりながら、お土産を購入し、唐戸市場の『からと屋』で新鮮なお刺身や天婦羅等のご馳走を「美味しい」と

大満足されていました。海響館でアシカのエサやり(バクパクタイム)があり、食べる様子を楽しく見学されて、色とりどりの魚やペンギンの可愛い歩く姿を見て、仕事を真似して楽しまれました。

帰る前に『耳なし芳一』が祀つてある赤間新宮宝物殿へ参拝に行き、充実した時間を過ごすことが出来ました。(山)



椎茸菌打ち活動



ドリルで穴を開けている様子です!

三月三日(木)に農芸科の利用者が毎年楽しみにしている活動の一つである椎茸菌打ち作業を行いました。ドリルで原木に穴を開けて、木槌でコンコンとリズムカルに種ゴマを一つずつ打ち込んでいきます。その後は、来年度まで寝かせるために重たい原木を移動させます。沢山収穫できますように!



菌の打ち残しはないですか?

ピースハイム

お引越し・・・よかよ

今年度は入居者、ホーム支援員、巡回支援員の大幅な移動がありました。入居者の皆様も当初は戸惑われていましたが、少しずつ新体制の生活に慣れてこられました。移動された入居者に新ホームでの感想を伺いました。



『ピースハイムめぐみ』
松本 政代様
部屋が綺麗です。教会が近くなつてよかったです。



『ピースハイム緑小路』
与田 金蔵様
緑小路の部屋は二階にあるよ、眺めのよか



『ピースハイム多布施』
野口 賢一様
部屋の天井が高くて食堂と風呂場が広いのでよかったです。

金立の時は職場までの行き帰りは田んぼが多かったので風が強くて大変でした。(K&K)

新任職員紹介



めぐみ園



生活支援員 副島 千尋

一人ひとりのことを理解し、信頼してもらえるよう努力します。



生活支援員 増田 瞳

利用者の方の笑顔を引き出せるように明るく元気に頑張ります。



生活支援員 中島 弘貴

初心を忘れず、利用者の方へ住みよい環境を提供できるように頑張ります。



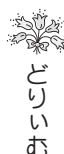
調理員 芦原 真美

利用者の皆さんに喜んで頂けるよう、心を込めて美味しい料理を作ります。

聖句

人間の心は自分の道を計画する。
主が一步一步を備えてくださる。

(箴言 十六章 九節)



どりのいむ



生活支援員 深堀 真未

利用者の方が毎日楽しく過ごせるように一生懸命頑張ります。



はっぴい



生活支援員 古賀 朱美

自分の言動に責任を持ち、丁寧な支援を心掛けます。



生活支援員 音成 康平

利用者の方々の目線で考え、行動できる職員になりたい。



富士学園



生活支援員 江口真由美

心こそ大切。新たな気持ちで利用者支援に従事して参ります。



生活支援員 坂田須和子

信頼して頂けるような生活支援員になれるように努力致します。

管理栄養士 北村明日香

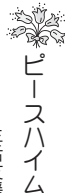


利用者の皆様に、毎日美味しい食事を提供出来るよう頑張ります。



調理員 石橋 友和

新卒で採用された職員の方と同じ気持ちで頑張りたいです。



ピースハイム



生活支援員 円城寺千代美

一日一日を大切に笑顔で応える支援をモットーに頑張ります。



生活支援員 水田 恵

『一日一笑』を忘れずに頑張ります。



生活支援員 山下恵美子

勤務二年目になりました。気持ちを新たに頑張ります。

皆様ありがとうございます
(三月・四月分)

◎めぐみ園へ
●香月 茂様より 寄付
●小ヶ倉 覚様より 寄付

何でもコーナー

八十八夜

末広りの姿をしていることから幸運を呼ぶとされてきた

「八」の字ですが、その「八」の字が二つ重なった「八十八夜」は、それだけに縁起のいい日と考えられています。また、「八」「十」「八」の三つの字を組み合わせると「米」という字になるため、農業に携わる人々にとって特別重要な日とされてきたと言われています。八十八夜は、立春の日から数えて八十八日目にあたりますので、今年五月一日です。新茶の摘み取りも始まります。

(利休)

あ тогоき

四月に熊本地方を震源とする大地震が発生し、県内外に大きな被害をもたらしています。被災された方へお見舞い申し上げます。被災された方の心身の安定と一日も早い復興をお祈りします。

(同心)

